

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

【専門科目】 【社会科教育専攻】

解答上の注意

1. 社会科教育専攻の入学試験問題は、問題Ⅰ～問題Ⅳまであります。
出願時に届け出た研究指導・指導教員により、下記の表の解答すべき問題に答えなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき問題
社会科教育研究指導	池 俊介	問題Ⅰ－A・問題Ⅱ
社会科教育研究指導	近藤 孝弘	問題Ⅰ－B・問題Ⅱ
歴史学研究指導	大橋 幸泰	問題Ⅲ－A・問題Ⅳ
歴史学研究指導	高木 徳郎	問題Ⅲ－B・問題Ⅳ
歴史学研究指導	堀越 宏一	問題Ⅲ－C・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小森 宏美	問題Ⅲ－D・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小松 香織	問題Ⅲ－E・問題Ⅳ
歴史学研究指導	石濱 裕美子	問題Ⅲ－F・問題Ⅳ
地理学研究指導	久保 純子	問題Ⅲ－G・問題Ⅳ
地理学研究指導	箸本 健二	問題Ⅲ－H・問題Ⅳ
地理学研究指導	山内 昌和	問題Ⅲ－I・問題Ⅳ
政治学研究指導	遠藤 美奈	問題Ⅲ－K・問題Ⅳ
経済学研究指導	藁谷 友紀	問題Ⅲ－L・問題Ⅳ
経済学研究指導	熊谷 善彰	問題Ⅲ－M・問題Ⅳ
社会学研究指導	北澤 裕	問題Ⅲ－N・問題Ⅳ
社会学研究指導	若林 幹夫	問題Ⅲ－O・問題Ⅳ
メディア・コミュニケーション学研究指導	伊藤 守	問題Ⅲ－P・問題Ⅳ

2. 解答すべき問題以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。
3. 解答用紙の所定欄に、「問題番号」（例：「Ⅰ－A」・「Ⅲ－A」など）を必ず記入すること。
また、全ての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
4. 解答用紙は、「問題番号」別に使用すること（一つの問題で一枚使用）。
5. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
6. 問題用紙は「5枚」（本ページ含む）、解答用紙は「2枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

問題Ⅰ 「社会科教育研究指導」の志願者は、表紙を参照のうえ、教員別に指定された A または B を選んで答えなさい。

I-A (社会科教育研究指導 1)

地理学習におけるフィールドワークの重要性について述べなさい。

I-B (社会科教育研究指導 2)

市民性教育と政治教育の共通点と相違点について説明しなさい。

問題Ⅱ 「社会科教育研究指導」の志願者は、次の a～h から 1 問を選んで答えなさい。

Ⅱ-a (日本史) 歴史研究において、文学作品を史料として用いることの意義と問題点について論じなさい。

Ⅱ-b (西洋史) 古代ギリシアの民主政について、その内容を具体的に説明したのち、その歴史的意義について論じなさい。

Ⅱ-c (東洋史) イスラム世界にとって「十字軍」とは何だったのか、現在に至るまでのその影響について論じなさい。

Ⅱ-d (地理学)

ジェントリフィケーションについて、近年の東京都心部の人口増加との関連を含めて論じなさい。

Ⅱ-e (政治学)

日本の衆議院議員選挙につき、現行制度の概要を説明し、課題について述べなさい。

Ⅱ-f (経済学)

開放経済における財政政策と金融政策の効果について論じなさい。

Ⅱ-g (社会学)

「文化」、「階級」、「再生産」をキーワードに、現代社会について論じなさい。

Ⅱ-h (メディア・コミュニケーション学)

「地域コミュニティの課題・再生」について、メディア・コミュニケーション学からどのような議論が行われてきたか論じなさい。

問題Ⅲ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学、メディア・コミュニケーション学の各研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、教員別に指定された A～P を選んで答えなさい。

Ⅲ-A (歴史学研究指導 日本史 1)

次の史料は、17 世紀後期から 18 世紀前期に生きた神道講釈家の増穂残口の著作『神路手引草』の一部である。ここには、人々が心がけるべき生活態度が説かれている。これを手がかりに、近世日本の人々の秩序意識について論述しなさい。

「士農工商家業の一にとどまりて、形をつかひ、身をはたらき、時をうしなわず、節をみださず、分を知り、己をはかりて、其道其道の智をみがくによりて、世とあらそはず、我家我家の職にかしこく、下をあなどらず、上をかるしめず、おのづから法を守る。女は女の職、男は男の職にかしこく、只今日の身を大事にかけ、あやまらぬやうに月日をおくり、世をうらみず、人にあかれず、朝夕たのしみて、天命をつくすぞ道也。是をさとらば、彼も悟り、此世も直ならば未来も又直ならん。」

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

Ⅲ－B（歴史学研究指導 日本史 2）

次の史料を読んで、下記 1)～3)の問いに答えなさい。

新院庁下 杵築大社神官等

可早停止孝高濫望、任相伝文書理、以孝綱為当社神主并惣檢校職事、
右、今月日孝綱解状稱、謹檢案内、当社御垂跡以降、皆以神命為此職、人代之後、始賜出雲姓為国造、令奉行神事、代々
聖主忝下鳳詔、撰其器量、近来被定置領家之後、称神主父以奉行社内、蒙領家之成敗、云彼云此、自神代及人代卅余
世、皆子孫相伝之所職也、而孝高者、当国官人中原頼辰男也、忠孝綱父孝房依為外戚親類、近令服仕許也、全無一紙文
書、縱為孝房子息得讓與、不得豈無差別哉、況於異姓他人哉、神慮難測、人望有憚者也、就中当宮御遷宮之時、奉懷御
軀事、非当氏全無其例、近則内蔵資忠、属武士暫雖補此職、臨遷宮之期、殊有其沙汰、以孝綱父孝房被還補、遂其節畢、
子細詳見所進證文等、抑当職者、古昔則被下綸旨、近来又為領家裁、當時已為庁分御領、何不蒙庁裁哉、非器之輩連々
社務之間、社内狼藉、神事陵遲、田畝荒廢、不進年貢、爰孝綱且嘆恐社家之不靜、且思案庁分之皆空、殊廻計略、有限
神事用途之外、可進濟千石之御年貢之由、已進請文畢、是則孝綱以相伝文書、讓男孝忠、孝忠者為平忠光孫之間、忠光
随分以私力、可勵濟之由約諾、仍於請文者、忠光所加判也者、望請庁裁、（中略）

建保二年八月 日

主典代雅楽頭安倍朝臣（花押）

（以下、五名署判略）

- 1) 上記の史料をすべて平仮名で読み下しなさい。
- 2) 上記の史料を現代日本語に訳しなさい。
- 3) この訴訟では、訴人は主に二つの理由から訴訟相手が「非器之輩」だと述べていると考えられる。この二つの理
由を簡潔に答えなさい。

Ⅲ－C（歴史学研究指導 西洋史 1）

中世ヨーロッパの騎士とはどのような存在だったか。戦士としての側面と社会的身分としての側面について、それ
ぞれ論じなさい。

Ⅲ－D（歴史学研究指導 西洋史 2）

次の選択肢から 5 つを選び、それぞれについて説明しなさい。なお、各回答の前に、選択肢の番号を書くこと。

- ①社会的記憶 ②歴史家委員会 ③人道に対する犯罪
- ④創られた伝統 ⑤二項対立的ナショナリズム理解
- ⑥19世紀東欧のナショナリズム ⑦文化自治
- ⑧ウクライナ人 ⑨沿ドニエストル／トランスニストリア
- ⑩独ソ不可侵条約

Ⅲ－E（歴史学研究指導 東洋史 1）

オスマン帝国によるヒジャーズ鉄道建設の歴史的意味について論じなさい。

Ⅲ－F（歴史学研究指導 東洋史 2）

日露戦争時の英露と日本・モンゴル・チベットとの関係について、それぞれ具体的に述べなさい。

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

Ⅲ－G（地理学研究指導 自然地理）

以下の事項についてそれぞれ説明しなさい。

- 1) 地球上の変動帯とその種類
- 2) 日本列島における平野の分布と特色
- 3) 2016 年熊本地震
- 4) 富士火山の活動史
- 5) 最終氷期の北海道の地形環境

Ⅲ－H（地理学研究指導 人文地理 1）

国土交通省は、日本の地方都市における中心市街地の空洞化問題を改善するため、「立地適正化計画」を通じて公共施設や大規模集客施設の再集中を図っているが、必ずしもその効果は上がっていない。その理由を、日本の地方都市の構造や「まちづくり 3 法（1998～）」以降の都市政策と関連づけながら説明しなさい。

Ⅲ－I（地理学研究指導 人文地理 2）

高度経済成長期後の日本における地方圏と三大都市圏との間の人口移動について論じなさい。なお、地方圏とは三大都市圏以外の地域のことである。

Ⅲ－K（政治学研究指導）

日本国憲法 65 条にいう「内閣に属する」行政権の意味について、最近の学説の展開を踏まえながら論じなさい。

Ⅲ－L（経済学研究指導 1）

- 1) ケインズ理論の短期性について論じなさい。
- 2) ハロッドはその短期性をいかにして克服したか、説明しなさい。

Ⅲ－M（経済学研究指導 2）

資本資産価格モデルと裁定価格理論とを比較し、論じなさい。

Ⅲ－N（社会学研究指導 1）

以下の 2 問から 1 問を選び、答えなさい。

- 1) クリナメンと見るものの関係を説明し、これが自己の決定に果たしている役割について論じなさい。
- 2) 視のプラトーンとは何か。またこれが出来事や人にどのような意義を与えているのかについて説明しなさい。

Ⅲ－O（社会学研究指導 2）

以下の 2 問から 1 問を選び、答えなさい。

- 1) 戦後日本における都市化と社会の関係について、具体的な事例を挙げて論じなさい。
- 2) 「記憶」と「期待」が社会においてもつ意味や機能について、具体的な事例を挙げて論じなさい。

Ⅲ－P（メディア・コミュニケーション学研究指導）

以下の項目から 2 つを選び、答えなさい。

- ①集団分極化 ②沈黙の螺旋 ③メディア・イベント ④模倣

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
〔専門科目〕 【社会科教育専攻】

問題Ⅳ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学、メディア・コミュニケーション学の各研究指導の志願者は、次のa、bのうち1問を選んで答えなさい。

Ⅳ-a

社会科・地理歴史科における防災教育の現状と今後のあり方について述べなさい。

Ⅳ-b

「ポスト・トゥルース」や「オルタナティブ・ファクト」が日常用語となった今日の世界において、歴史教育ないし公民教育に期待されることについて述べなさい。